

# その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.002

## a taste of Y'assy

### 田中 康夫



たなかやすお●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。  
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、  
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ  
ログ】 [http://blog.livedoor.jp/dream\\_yassy/](http://blog.livedoor.jp/dream_yassy/)



Y'assy

## TPPは貿易立国にとっての 万能薬に非ず。寧ろ劇薬

### 今週の逸品



### 菊川トマトもんじゃ焼き 味三

味三は都営新宿線菊川駅の真上に位置する。トマト、挽肉、カレー、チーズを捏ねた逸品が、菊川トマトもんじゃ。千円札1枚で、食材の宝庫として知られるプーリア州でリゾートを食しているが如き至福の境地に陥る。伝統的「粉物」は700円台。おつまみザーサイ、唐辛子味噌きゅうりの後、ゲン焼き等の鉄板焼きを経て、豚・カレー・ニンニクのパオズ、ベーコン、チーズ、バジルのイタリアンもお勧め。焼酎も各種。

【味三】東京都墨田区菊川2-16-14 ☎03-3632-6008  
([http://www.geocities.jp/okonomiyaki\\_ajisan/](http://www.geocities.jp/okonomiyaki_ajisan/))

illustration by Hajime Anzai



万能薬に非ず。寧ろ劇薬。

きめ細かく二国間でFTA II自由貿易協定を締結してこそ通商国家としての未来が訪れる、と盧武鉉政権下で韓国は決断。爾来7年ASEAN加盟10カ国、インド等3カ国との間でFTAは発効済みEU、トルコとも発効待ち。米国、GCC II湾岸アラブ諸国協力会議とも最終段階です。この間、情眼を貪っていた日本は確実に、韓国に後塵を拝しています。戦略も戦術も持ち合わせぬ日本が、今や最大の貿易相手国となった中国とのFTA交渉も行わぬ儘、TPPなる米連邦に加わったなら、軌轢必至です。

が、縄文以来1万2千年に及ぶ日本の文化とは本来、「活用の歴史」だったので。律令制度も神仏習合も。それは右顧左眈ならぬ良い意味での換骨奪胎です。川野上なる珍しい苗字の貞・幸子夫妻が平成8年から営む味三は、墨田区菊川に位置します。温性高き一家が、お好み焼き、もんじゃ焼き、鉄板焼きを供します。

伝統的な「粉物」に留まらず、辣油と搾菜が加わった中華もんじゃを始めとして、子息の勝也氏が考案した和魂洋才な代物も品書きに並びます。別けても、カレー粉とチーズで味付けた菊川トマトもんじゃは、豊潤なるリゾートを彷彿とさせる逸品。東都随一の粉物屋です。

中央・地方、都会・田舎といった「二項対比」は判り易い話です。何れか一方は肯定的、他方は否定的な「ニュアンス」差異」として捉えられ勝ちな点に於いて。単純矮小で視野狭窄な「二項対比」は往々にして、不毛な「二項対立」を齎します。攘夷か開国か、と突如、時代錯誤な意句で語られ始めた「TPP問題」は、その象徴的事例です。

貿易立国の日本が「開国」済みなのは、明々白白々。議論すべきは、開国の在り方です。即ち、「かた

ち」という表層でなく、「なかみ」という深層を巡って。「この国のかたち」改め「この国のなかみ」が今、問われているのです。今も拘らず、「TPPの扉は閉まり掛けている」と「口先番長」な外務大臣は情緒的な幼児語を発し、哲学も覚悟も稀薄な「仙菅ヤマト」内閣は迷走・漂流の「パニック症候群」に陥っています。その扉とやらは一体何時、開いていたのですか? 「開門時」に報じた媒体を、寡聞にして僕は知りません。僅か3ヶ月前には永田町

予定なしと表明するのです。TPP II 環太平洋パートナーシップ協定は、貿易立国にとっての